

群論 (第4回)

4. 位数

今回は位数の定義や性質について解説します.

定義 4-1 (元の位数)

群 G の元 $x \in G$ に対して, $x^n = 1_G$ を満たす最小の自然数 n を x の**位数**と呼び, $|x|$ または $\text{ord}(x)$ で表す. そのような自然数が存在しないとき, x の位数は無限であると言い, $|x| = \infty$ で表す.

※ 定義から次が成り立つ.

$$(i) \quad |x| = 1 \iff x = 1_G.$$

$$(ii) \quad |x| = \infty \iff x^n \neq 1_G \ (\forall n \geq 1).$$

例えば, S_3 の元 $\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix}$ をとると,

$$\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} \neq \text{Id}, \quad \sigma^2 = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix} \neq \text{Id}, \quad \sigma^3 = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix} = \text{Id}.$$

従って $|\sigma| = 3$ となる.

問題 4-1 2次正則行列全体 $\text{GL}_2(\mathbb{C})$ において考える. 行列

$$A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}, \quad C = \begin{pmatrix} 0 & k \\ i & 0 \end{pmatrix}$$

を考える. ただし, $i = \sqrt{-1}$, $k \in \mathbb{C}^\times$ とする.

- (1) A, B の位数を求めよ.
- (2) C の位数が4のとき, k の値を求めよ.
- (3) $M \in \text{GL}_2(\mathbb{C})$ に対し, MBM^{-1} の位数を求めよ.

定理 4-1

群 G の元 $x \in G$ を考える. $|x| = n$ のとき,

$$x^m = 1_G \iff n \mid m.$$

[証明]

\Leftarrow について. $m = nk$ ($k \in \mathbb{Z}$) と表せるので,

$$x^m = (x^n)^k = 1_G^k = 1_G.$$

\Rightarrow について. $m = qn + r$ ($0 \leq r \leq n-1$) を満たす $q, r \in \mathbb{Z}$ をとる. このとき,

$$1_G = x^m = x^{qn+r} = (x^n)^q x^r = x^r.$$

x の位数は n だから, $r = 0$ でなければならない. よって $n \mid m$.

□

定理 4-1 の使い方を紹介します.

例題 4-1

$$\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 \\ 2 & 3 & 4 & 5 & 1 & 7 & 6 \end{pmatrix} \in S_7 \text{ の位数を求めよ.}$$

[解答]

$\sigma = (1\ 2\ 3\ 4\ 5)(6\ 7)$ と表せるので,

$$\sigma^{10} = (1\ 2\ 3\ 4\ 5)^{10}(6\ 7)^{10} = \text{Id}.$$

定理 4-1 より $|\sigma| \mid 10$ であるから, $|\sigma| = 1, 2, 5, 10$ のいずれかとなる.

$$\sigma^1 \neq \text{Id},$$

$$\sigma^2 = (1\ 2\ 3\ 4\ 5)^2(6\ 7)^2 = (1\ 3\ 5\ 2\ 4) \neq \text{Id},$$

$$\sigma^5 = (1\ 2\ 3\ 4\ 5)^5(6\ 7)^5 = (6\ 7) \neq \text{Id}.$$

従って $|\sigma| = 10$.

□

問題 4-2 $\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 \\ 3 & 5 & 2 & 1 & 7 & 4 & 6 \end{pmatrix} \in S_7$ の位数を求めよ.

群 G の元 $x \in G$ を考える. 位数の定義は次のように言い換えられる.

$$|a| = n \iff \begin{cases} (1) a^n = 1_G, \\ (2) a^l = 1_G \ (l \in \mathbb{N}) \implies l \geq n. \end{cases}$$

証明では上記の (1), (2) を示す場合が多い.

例題 4-2

群 G と $x \in G$ に対して次を示せ.

$$|x| = 2n \implies |x^2| = n.$$

[証明]

(1) $|x| = 2n$ より $(x^2)^n = x^{2n} = 1_G$.

(2) $(x^2)^l = 1_G$ ($l \in \mathbb{N}$) とする. $x^{2l} = 1_G$ で $|x| = 2n$ より, $2l \geq 2n$. 従って $l \geq n$.

以上から $|x^2| = n$ である.

□

問 4-3 群 G と $x, y \in G$ を考える.

(1) $|xy| = n$ ならば, $|yx| = n$ を示せ.

(2) G はアーベル群, $m = |x|$, $n = |y|$ とする. $\gcd(m, n) = 1$ のとき, $|xy| = mn$ を示せ.

定理 4-2

有限群 G と $x \in G$ を考える. このとき, $|x| < \infty$ である.

[証明]

$n = |G|$ とすると, $x^1, x^2, \dots, x^n, x^{n+1}$ の中で等しいものがある. $x^j = x^i$ ($1 \leq i < j \leq n+1$) とすると, $x^{j-i} = 1_G$. 従って $|x| \leq j-i \leq n < \infty$.

□

[コメント]

後の授業で紹介するラグランジュの定理を用いると, $|x|$ は $|G|$ の約数であることが分かる.